１／２７（木）の行事

はじめよう、つづけよう。
「新北海道スタイル」
～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時　１月24日（月）16時00分

発表項目（行事名）	令和３年度「商品開発及び販路拡大に向けた勉強会in北広島」の開催について		
記者レクチャーのお知らせ	（実施日時）	発表者	
		発表場所	
概要	石狩振興局では、石狩管内の農産物を用いた商品開発及び販路拡大に向けた食の人材育成を図るため、魅力ある商品づくりや新型コロナウイルス禍での販路拡大、商工会と農業者の取組等をテーマとした勉強会を北広島市で開催します。 **■開催日時・場所** 令和４年１月２７日（木）１４：００～１６：１０ 北広島市芸術文化ホール２階活動室１・２（北広島市中央６丁目２番地１） **■概要** ◎基調講演「モスバーガーに学ぶブランドの原点～何といっても大切な商品開発力～」 講師：2021年度北海道食のキーパーソン育成研修講師 office igatta　代表　田村茂　氏 ◎取組事例発表「コロナ禍における農産物の販路拡大の取組」 発表者：2016年度・2019年度フード塾修了生　小川農場　小川聖子 氏 ◎取組事例発表「北海道米ものがたり～寒地稲作は北広島市から始まった～」 発表者：きたひろしま開拓プロジェクト委員会　委員　原田敏光 氏 ■主催：石狩振興局、共催：北広島市・北広島商工会、 協力：E-ZO（北海道フード塾修了生の会）		
参考	勉強会の様子は、石狩振興局の食と観光情報を発信するFacebook「食べる！遊ぶ！旬体験いしかり」Instagram「旬体験いしかり」でも発信します。 Facebook　HOKKAIDO_ISHIKARI_SHUNTAIKEN		

報道（取材）に当たって	○　本勉強会は、石狩管内の食の価値の拡大・定着を目指すほか、生産者や食関連事業者の繋がりの場づくりとなる取組です。 ○　食産業に携わる意欲あふれる方々が多数参加しますので、積極的な報道をお願いします。
他のクラブとの関係	同時配付　（場所） 同時レク　「道政記者クラブ」

担当（連絡先）	石狩振興局産業振興部商工労働観光課（担当者：阿部、梅原） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５８３０（内線３４－４２２）

令和３年度商品開発及び販路拡大に向けた勉強会 in 北広島

北海道石狩振興局は、石狩管内の農産物を用いた商品開発及び販路拡大に向けた食の人材育成を図るため、魅力ある商品づくりや新型コロナウイルス禍での商品の情報発信、北広島商工会と農業者等の取組「きたひろしま開拓プロジェクト」の PR をテーマとした勉強会を北広島市で開催いたします。

日時・場所

令和４年（2022 年）1 月 27 日（木）　14:00～16:10

北広島市芸術文化ホール２階活動室１・２（北広島市中央６丁目２番地１）

１　開　会

２　基調講演　「モスバーガーに学ぶブランド形成の原点　～何といっても大切な商品開発力～　」

講　師　2021 年度北海道食のキーパーソン育成研修講師　office igatta 代表　田村茂 氏

1952 年岩手県生まれ。日本大学経済学部在学中、モスバーガー創業者故櫻田慧氏と知り合い、モスバーガー1 号店でアルバイトを始める。大学卒業後、大手銀行に入行、10 か月後に株式会社モスフードサービスに転職、店長･SV･営業部長等を歴任。

1987 年商品開発部長としてモスライスバーガーを開発。取締役商品本部長、取締役専務執行役員 COO を経て、2011 年専務取締役に就任。退任後に特別顧問。退社後 office　igatta 設立、代表に就任。著書に「外食マネージャーのためのぶれないプライドの創り方」がある。

３　休　憩

４　北海道フード塾修了生の取組事例発表　「コロナ禍における農産物の販路拡大の取組」

発表者　2016 年度・2019 年度北海道フード塾修了生　小川農場　小川聖子　氏

千歳市根志越地区で小川農場を経営。歯科医院マネージャー歴 10 年を経て農場経営へ。農場では､いちご（けんたろう･ゆきララ･すずあかね）､とうもろこし､かぼちゃなどを栽培｡Facebook や Instagram を活用して農産物の情報を発信。

テレビ局やラジオ局からの取材を多数受け、広く情報を発信しているほか、北海道どさんこプラザ札幌店へのいちごの出展や、茨城空港と連携した観光農園企画の実現、千歳市ふるさと納税返礼品としての登録など、コロナ禍の中でも市内外への販路拡大に積極的に取り組んでいる。

５　北広島商工会の取組事例発表　「北海道米ものがたり　～寒地稲作は北広島市から始まった～　」

発表者　北広島商工会　きたひろしま開拓プロジェクト委員会　委員　原田敏光　氏

赤毛米とは？北海道を代表するお米「ゆめぴりか」「ななつぼし」の先祖。1873 年、中山久蔵翁が現在の北広島市島松にて、赤毛米で稲作を成功させたことから、北広島市は寒地稲作発祥の地となった。今は一般に流通していない大変珍しいお米であるが、北広島商工会では、赤毛米を用いた商品開発やシティセールスなど、地域振興につながる取組を行っている。

赤毛米の栽培（30a→60a）、商品開発（2016 年度:10 商品→2020 年度:22 商品）の取組により、2021 年、「きたひろしま開拓プロジェクト」は、農林水産省が地域活性化に取り組む優良事例を選定し、全国へ情報発信する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特別賞を受賞。

６　閉　会

【主催】北海道石狩振興局、【共催】北広島市・北広島商工会、【協力】E-ZO（北海道フード塾修了生の会）